

あさか子どもプラン しんちよく 平成26年度進捗状況

(朝霞市次世代育成支援行動計画)

市では、子育て支援に関する今後の取り組みの方向を示すものとして、「あさか子どもプラン 朝霞市次世代育成支援行動計画 後期計画」を策定し、あさかの子どもたちがすこやかに安心して育つよう、平成22年度よりこの計画を推進してきました。平成26年度をもって計画期間が終了し、平成27年度から開始された「朝霞市子ども・子育て支援事業計画」に引き継がれました。ここでは、平成26年度の進捗状況を公表します。

【基本目標】

「すべての子育て家庭を応援しよう」

「子と親が自ら学び、育つ力をはぐくむことを応援しよう」

「子どもが安全に育つ、安心なまちにしよう」

【重点事業とは】

プラン中の192事業のうち、13事業を重点事業として、子育て支援サービス等の目標事業量を設定し、計画的に取り組んでいる事業です。

前期計画から継続する重点事業

1 子育て支援センター事業

現状：9か所設置(継続)

成果：公営子育て支援センター(2か所)の運営と民営の子育て支援センター(7か所)への支援を行いました。

事業の参加者数(公立のみ) 8,468人

相談者数(公立のみ) 243人

2 通常保育事業・3 保育園の建設

現状：40園(分園含む)設置(継続)

定員 2,488人

(公立：1,056人、民間：1,037人、小規模：125人)

成果：平成27年4月開園の民設保育園5園を建設し、従来の認可外保育施設など8園が小規模保育施設に移行し、定員の拡大を図りました。

4 延長保育事業

現状：27園全園で午前7時から午後7時までの延長保育および14園(宮戸、仲町、大山、しらこぼと、滝の根、朝霞どろんこ、ゆりの木、ゆりかご、いずみばし、ひまわり、三原どろんこ、朝霞ひだまりの森、仲町どろんこ、あさしがおか杏樹)にて、午後7時以降の延長保育を実施(継続)

成果：平成27年4月新制度移行に伴い、最大午後10時までの延長保育を実施(1園)しました。

5 一時預かり事業

現状：4園(東朝霞保育園・さくら保育園・仲町保育園・どろんこ保育園：定員67人/日)で実施(継続)

成果：非定型 2,375人(延べ)、緊急 736人(延べ)、リフレッシュ 957人(延べ)

※非定型…保護者の労働、職業訓練、就学などの理由により、断続的に家庭での保育が困難になる児童を預かること。

※緊急…保護者の病気、出産、看護、災害、冠婚葬祭など社会的にやむをえない理由により、緊急・一時的に家庭での保育が困難になる児童を預かること。

6 休日保育事業

現状：仲町保育園(定員20人)で実施(継続)

成果：利用者数 89人(延べ)

7 病後児保育事業

現状：未実施

成果：朝霞台中央病院と実施に向けての協議をしました。

8 ショートステイ事業

現状：市内里親5家族と契約し、実施(継続)

成果：委託里親数 実績5家族、受入日数 実績41日

9 トワイライトステイ事業

現状：未実施

成果：トワイライトステイ事業としては未実施ですが、ファミリーサポートセンター事業の中で午後7時以降の預かりを実施しました(延べ761件)。

※トワイライトステイ

…保護者が仕事等のため平日の夜間または休日に一時的に子どもを預かること。

10 あさか子育てガイドブックの発行

現状：発行(継続)

成果：子育て支援情報誌を官民協働事業として改訂しました。児童館、公民館等の市内公共施設で配布およびインターネットからダウンロードできるように市ホームページに情報誌を掲載しました。

11 児童館の設置

現状：5館設置(継続)

成果：本町、栄町地区周辺を設置場所と決定し、検討を行いました。

後期計画で新たに重点事業として位置付けた事業

12 放課後児童クラブ事業

現状：10クラブ・20室設置(継続)

全体定員 1,184人、入所者数 943人

成果：浜崎放課後児童クラブの分室の建設を開始しました。

13 家庭保育室補助事業

現状：20か所(継続)入所者数 3,754人(延べ)

成果：待機児童数および利用者数を勘案しながら、家庭保育室を指定し、施設に対する運営費の補助および保護者に対する保育料負担軽減費補助を行いました。